

令和7年度普通課程及び総合実務科入校生募集予定

募集日程は令和6年6月時点の情報であり、募集定員・出願期間等変更になる場合があります。
最新の情報はホームページをご確認ください。

【普通課程の募集日程】

区分	募集科・募集定員（予定）	出願期間	入校選考日	合格発表		
新卒者募集	倉吉校	ものづくり情報技術科（2年）	16名	令和6年 10月1日（火） ～10月31日（木） ※必着	令和6年 11月15日（金）	令和6年 11月21日（木）
		土木システム科（1年）	8名			
		木造建築科（1年）	8名			
	米子校	自動車整備科（2年）	20名			
		設計・インテリア科（1年）	16名			
デザイン科（1年）	16名					
（新卒者及び離職者対象） 一般募集	倉吉校	ものづくり情報技術科（2年）	4名	令和7年 1月6日（月） ～1月28日（火） ※必着	令和7年 2月7日（金）	令和7年 2月13日（木）
		土木システム科（1年）	2名			
		木造建築科（1年）	2名			
	米子校	自動車整備科（2年）	5名			
		設計・インテリア科（1年）	4名			
デザイン科（1年）	4名					

※一般募集の定員は、変更になることがあります。

【知的障がい者対象訓練の募集日程】

校名	募集科・募集定員	出願期間	入校選考日	合格発表
倉吉校	総合実務科（1年）	第1次	10名	新卒者募集、一般募集共に普通課程と同一日程で実施する予定です。
		第2次	2名	

▶募集要項

- 自動車整備科以外の応募者は、高等学校等を卒業した者（令和6年度の高等学校等卒業見込み者を含む。）又は満18歳以上（令和7年4月1日現在）で高等学校等卒業者と同等以上の学力を有すると認められる者。
- 自動車整備科の応募者は、高等学校等を卒業した者（令和6年度の高等学校等卒業見込み者を含む。）又は学校教育法第90条第1項及び学校教育法施行規則第150条各号の1に該当する者。

※高等学校等とは、高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部のこと。

▶応募手続き

高等学校等在学中の方は、在籍する高等学校等とおして応募してください。
求職中の方は、管轄の公共職業安定所（ハローワーク）にご相談ください。
※上記以外の方は、応募する訓練コースがある産業人材育成センター各校にご相談ください。

▶必要経費（令和6年度）

入校選考手数料2,200円、入校料5,550円、年間授業料111,600円が必要です。
（総合実務科は、入校選考手数料、入校料、授業料は無料）
その他経費（教科書代、作業服代、資格試験受験料等）が必要です。（科によって経費は異なります。）

▶訓練時間等

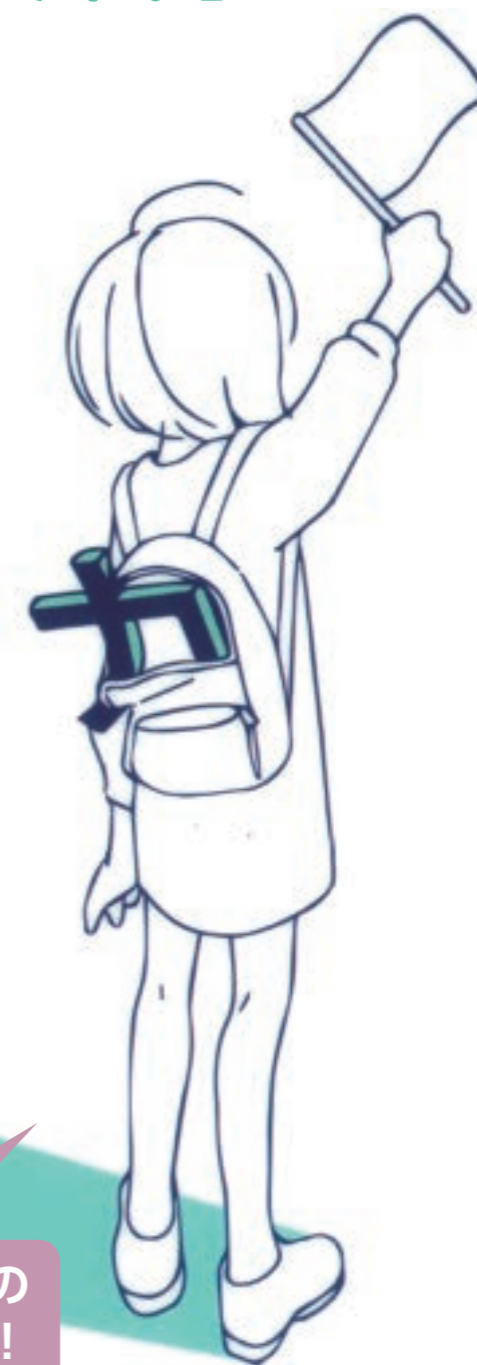
訓練時間：午前9時から午後4時35分 休日：土曜日、日曜日、祝日のほか、夏休み、冬休み等

▶助成制度等

授業料等減免制度、技能者育成資金融資制度、託児支援事業奨励金制度、家賃補助制度等があります。
JR、バス等の交通機関を利用して通校される方は学生割引が適用されます。（総合実務科は1年コースのみ）

鳥取県立産業人材育成センター 入校案内

働くスキルを身に付けて
社会を渡ろう



学生（未成年）の方は保護者の方にも見てもらってください！

鳥取県立産業人材育成センターは、鳥取県が設置する職業能力開発校です。
進学の一つとして専門知識や技術を学びたい方や、再就職のためにスキルアップを図りたい方など実践的な知識・技能を学び、就職に直接つながる人材を育成しています。
少ない経費で、就職に直結する専門知識や技能を身に付けられ、訓練の中で様々な資格にもチャレンジできます。

【倉吉校】 倉吉市福庭町二丁目1番地

TEL 0858-26-2247 FAX 0858-26-2248
E-mail sangyoujinzai-center@pref.tottori.lg.jp

【米子校】 米子市夜見町3001-8

TEL 0859-24-0372 FAX 0859-24-4094
E-mail sangyoujinzai-yonago@pref.tottori.lg.jp

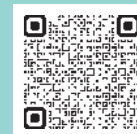
倉吉校

ものづくり情報技術科
（コンピュータ制御科）
土木システム科
木造建築科
総合実務科



米子校

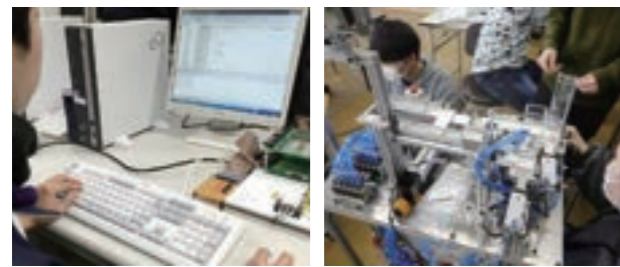
自動車整備科
設計・インテリア科
デザイン科



ものづくり情報技術科

コンピュータ、プログラム、電気電子、機械、ロボットなどの自動制御に関する知識や技術を複合的に学びます。

- 期間 2年
- 費用 2年間で約31万円（入校料・授業料含む）
- 定員 20名
- 内容 パソコン操作 プログラム作成 システム設計 ネットワーク構築 機械加工 CAD（2次元・3次元）電子回路設計 機械設計 ロボット設計 等
- 就職 制御技術者 電気技術者 情報技術者 等
- 資格 CAD利用技術者試験 C言語プログラミング能力認定試験 基本情報技術者試験



木造建築科

木造住宅を中心とした、住宅づくりに必要な知識や技術を学びます。

- 期間 1年
- 費用 年間約16万円（入校料・授業料含む）
- 定員 10名
- 内容 建築関連学科 木造住宅の施工 リノベーション実習 住宅デザイン実習 建築CAD実習 各種技能講習 等
- 就職 住宅施工技術者 住宅設計管理 等
- 資格 2級建築士・木造建築士の受験資格 玉掛け技能講習 各種特別教育 等



土木システム科

土木技術者をめざし、測量、CAD製図、施工管理、関係法規などの土木工事の知識や技術を学びます。

- 期間 1年
- 経費 年間約22万円（入校料・授業料含む）
- 定員 10名
- 内容 測量関連学科 測量実習 土木関連学科（施工管理、土質、力学、コンクリート等）CAD操作実習 各種技能講習 等
- 就職 建設会社の技術者 建設コンサルタントの技術者 等
- 資格 各種特別教育・技能講習（小型車両系建設機械等）CAD利用技術者試験（希望者） 測量士補及び2級土木施工管理技士（一次）対策



総合実務科

清掃、販売、調理補助、農業、介護補助、ビジネスマナー等の基本技術を学びます。

- 期間 1年、9か月、7か月
- 経費 約4万円（入校料・授業料は無料）
- 定員 15名
- 内容 基礎体力養成・スポーツ 基礎学習 生活学習 職業学習 オフィス補助 ビジネスマナー 専門職業技能 等
- 就職 それぞれの適性に合った職業
- 資格 コンピュータサービス技能評価試験（ワード、エクセル） 日本漢字能力検定 等



自動車整備科

自動車整備士として必要な機械工具の取り扱い、自動車整備・検査方法を学びます。

- 期間 2年
- 経費 2年間で約39万円（入校料・授業料含む）
- 定員 25名
- 内容 自動車の構造及び性能 自動車の力学 燃料及び潤滑剤 自動車整備法 自動車整備実習 等
- 就職 自動車整備士
- 資格 2級自動車整備士 電気自動車等の整備業務における特別教育 等



デザイン科

イラストレータ、フォトショップを使用し、ポスター・チラシ・パンフレット等の広告・印刷物を製作する知識や技術を学びます。

- 期間 1年
- 経費 年間約18万円（入校料・授業料含む）
- 定員 20名
- 内容 マーケティング 色彩 造形 デザイン 広告 視覚伝達法 デザイン実習 等
- 就職 グラフィックデザイナー 等
- 資格 色彩検定 Webクリエイター能力認定試験 等



設計・インテリア科

3次元CADによる木造住宅の設計やプレゼンテーションを学び、住まいの提案に必要な知識や技術を学びます。

- 期間 1年
- 経費 年間約20万円（入校料・授業料含む）
- 定員 20名
- 内容 建築設計 建築計画 建築構造 建築法規 インテリアデザイン 福祉住環境 3次元CAD BIM 等
- 就職 インテリアコーディネーター 建築士 等
- 資格 インテリアコーディネーター 福祉住環境コーディネーター 建築CAD検定 2級建築士受験資格 等



● 専門知識・技術を習得することにより、今の知識や技術では就けない職業や企業に就職できます。

基礎から学習するので安心して学ぶことができます

- 専門知識や技術がない人でも安心して学べます。
- 普通科高校出身者も専門的な知識やスキルを習得し、多くの県内企業で活躍しています。

実践力が身に付きます

- 実践的カリキュラムにより、知識と技術力が身に付きます。
- 各科では実習室（場）、PC等の機器が整備されてます。

少人数制できめ細かなフォローができます

- 理解度を確認し、フォローを受けながら訓練ができます。

県内就職に有利です

- 多くの修了生を県内企業に送り出しています。
- 県内企業との結びつきが強く、高い就職率を誇ります。

少ない経費で学ぶことができます！ 授業料年間約12万円

- 授業料減免、JR学割、家賃補助、託児支援制度あり。（要件に該当する方に限ります。）

一般的な県外私立専門学校との費用比較（生活費含む）

● 鳥取県立産業人材育成センター

$$\begin{matrix} \text{授業料} & + & \text{諸経費} & + & \text{生活・通学費} & = & \text{計} & \mathbf{68} & \text{万円} \\ 12\text{万円} & & 7\text{万円} & & 49\text{万円} & & & & \end{matrix}$$

● 県外私立専門学校

$$\begin{matrix} \text{授業料} & + & \text{諸経費} & + & \text{生活・通学費} & = & \text{計} & \mathbf{223} & \text{万円} \\ 79\text{万円} & & 29\text{万円} & & 115\text{万円} & & & & \end{matrix}$$

こんなに違います！

※センター諸経費は普通課程の平均、費用の根拠はセンターの経費資料及び令和4年度独立行政法人日本学生支援機構 専門学校学生生活調査結果等